

日本風景街道だより

2013年 秋 Vol. 26

全国で131の風景街道が登録

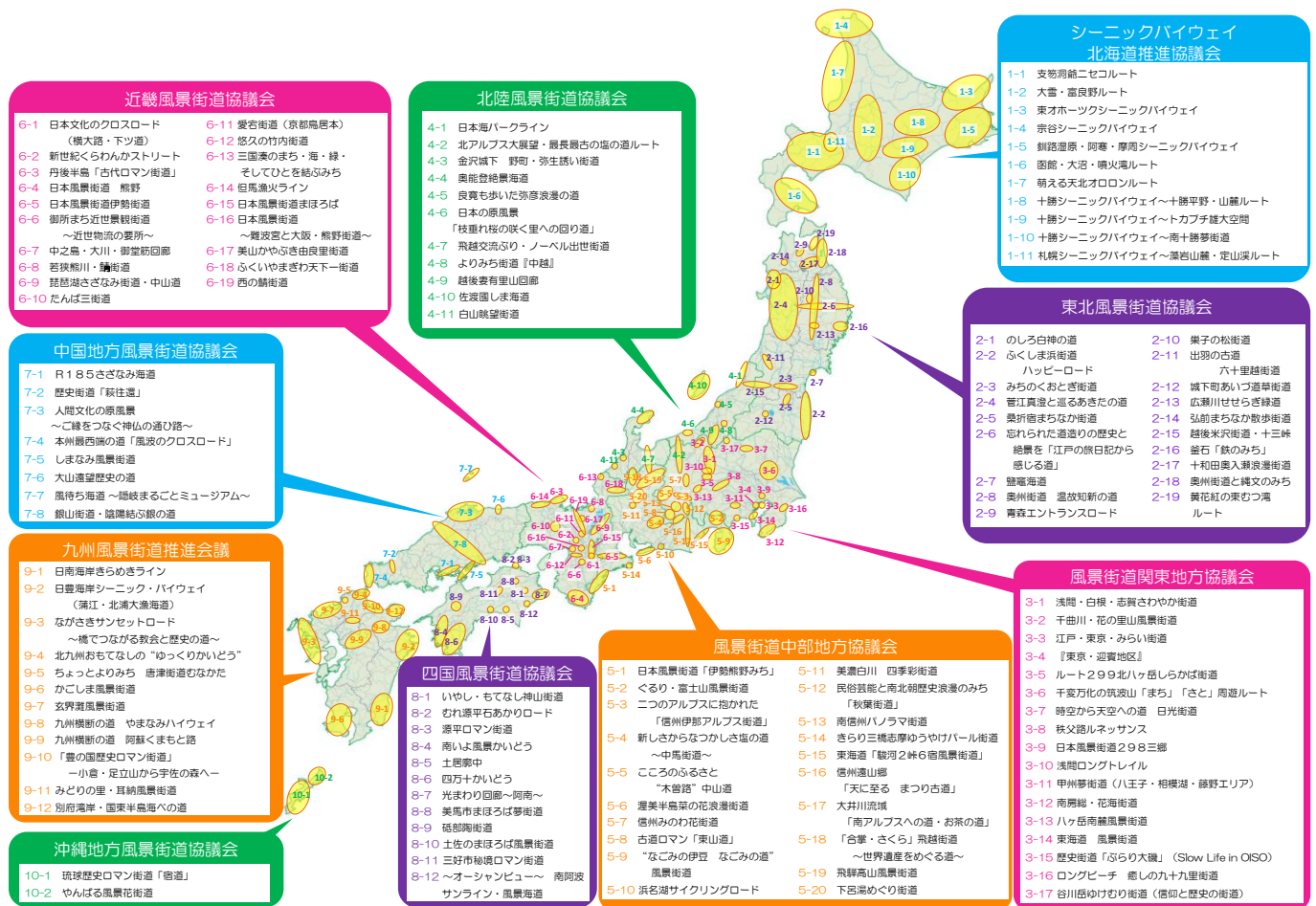
平成25年10月に中国地方で1ルートが新規登録されました。

これにより全国で131の風景街道が登録されています(平成25年10月末現在)。

中国地方の新規登録1ルートは、「銀山街道・陰陽結ぶ銀の道」です。

なお、登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

「住んで良し、訪れて良し」のまちづくりを目指して

ルート名：桑折宿まちなか街道

1. ルート概要

「桑折宿まちなか街道」は福島県の中通り県北地域の県道国見・福島線及び町道4004線などを含む総延長約4kmのルートです。このエリアは、仙台藩伊達氏発祥の地として知られ、奥州街道・羽州街道の分岐点(追分)の宿場町として繁栄し、近代においては伊達郡役所を有する政治や蚕種生産の中心地として栄えてきました。半田銀山跡、旧伊達郡役所、追分、寺社群、蔵の町並みなどの地域資源があります。また、歴史的な資産を活用した魅力と活力のある地域づくりを目的に、街道を活かしたまちづくりを推進しています。



ルート位置図

2. 主な活動内容

①奥州街道・羽州街道追分

前述したとおり桑折町は、奥州街道から羽州街道が分岐する重要な地でした。

桑折町を通過する参勤交代の諸大名は18家にもものぼり、生糸や煙草など物資の輸送も盛んでした。また、幕領屋代郷(現在の山形県高畠町)の城米が運ばれ、上郡河岸などから江戸へ積み出されるなど物流の拠点となっていました。

この分岐点を復元するために地元の方々が中心となって絵図などを基に検討し、福島県と町事業により道標、柳の木、ご休憩所を忠実に復元し、人や物、情報の往来で賑わった「追分」の往年を偲ぶことができるようになりました。



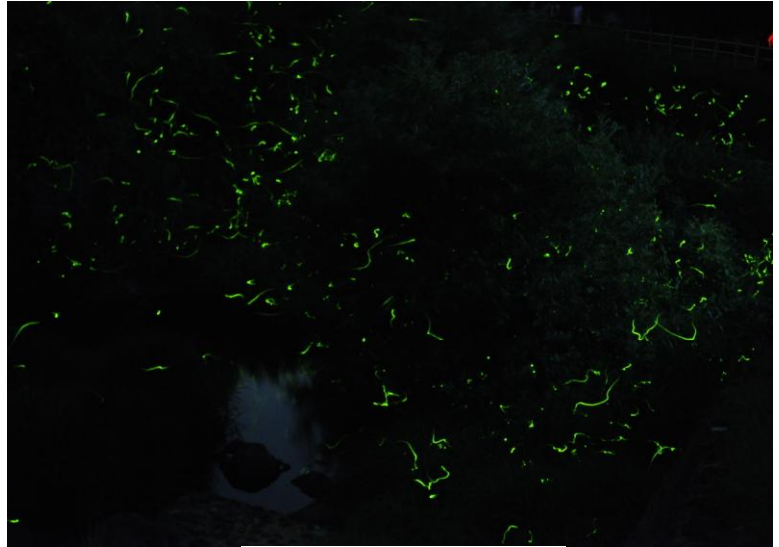
奥州・羽州街道追分(右:奥州街道、左:羽州街道)

②ホテルによる3県3町交流

桑折町西側を流れる産ヶ沢川には、5千匹以上のゲンジボタルが生息し、毎年6月中旬から7月初旬まで鑑賞することができます。期間中には約2万人以上の来町者があり、近くの温泉宿泊施設からは、蛍鑑賞ツアーのサービスも行っています。

この蛍の生息環境保護については、町内の民間2団体がっており、年々蛍の生息数が増えています。

また、ここ数年は宮城県七ヶ宿町・山形県高畠町とホテルによる3県3町の広域連携を行い、観光での連携を検討していましたが、近年は街道を契機とした災害時の防災協定の結びつきへと発展しました。



乱舞するゲンジボタル

③「桑折御蔵」・カフェ図書「まゆたま」の運営

空き店舗対策が叫ばれている中で、平成19年に町の中心地にある店蔵が解体されることになり、これを町が借り受けて桑折町商工会が改修し、商工会と女性団体連絡協議会が「元気こおり本舗有限責任事業組合」を設立して、「桑折御蔵」として活用しています。「桑折御蔵」は、女性団体の会員が無償ボランティアで運営しており、町の観光案内やおもてなし処として、愛されています。

また、東北大学生の提案によるミニ図書館を併設する商店街活性化施設として、空き店舗を改装し、カフェ図書「まゆたま」を設置し、町から東北大都市・まちづくり研究会に運営を委託し、21年度から営業を開始しました。学生と町民からなる「まゆたま運営委員会」で、運営方針を決定し独自の活動を進めており、町民の憩いの場となっています。



「桑折御蔵」とおもてなしをする会員のみなさん



蔵を改装した「まゆたま」

④桃雛まつり

奥州・羽州街道沿いを中心として、商店街に飾られた雛人形を見ながらまち歩きを楽しむ「雛めぐり」を行なっています。

これは商店のショーウィンドーや店内に各店が持っている雛人形や町民から提供された雛人形を沿道に飾り、「歩いて楽しめるまちづくり」として平成20年から始めた事業です。初めは既存の雛人形だけの雛飾りでしたが、最近では、町民や仮設住宅に避難している浪江町民の女性なども参加して作る手作りのつるし雛をまちなかに飾っています。復興を願った「さるぼぼ」の人形や野菜や果物を形取った吊るし雛は一つひとつが手作りで、心のこもった作品です。

沿道に飾られている「さるぼぼ」人形や
野菜、果物を形取った吊るし雛



雛めぐりで来町されたみなさん



手作り雛をつくる町民

3. 平成25年度の新たな取組

震災及び原発事故による風評被害が現在でも続いており、その払拭が課題となっています。そのため12月に桑折町産の米と水を使用した日本酒を復活させたいと考えています。併せて、桑折町に避難している浪江町民と一緒に「桑折・浪江厳選郷土料理コンテスト」を行い、町内外の来場者に食べていただき、桑折産の農産物や商品の安全・安心をPRし風評被害の払拭と地域経済の復興を進める活動をする予定です。

4. 終わりに

風景街道のルート登録をきっかけに、地域の魅力の再発見につながったり、住民や地域内の連携や絆が大変強まったと感じています。

また、ルート登録後に東日本大震災や原発事故があり、まだまだ復興の途上ではありますが、避難している浪江町民との交流や災害時防災協定の締結など街道を契機として広がっていることが実感できます。

今後とも、「住んで良し、訪れて良し」のまちづくりを目指し、活動していきたいと考えていますので、どうぞ皆様桑折町へお越しください。

〈執筆者〉

奥州・羽州街道「桑折宿」パートナーシップ事務局 小室 喬一

シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

「～オーシャンビュー～ 南阿波サンライン・風景海道」の取り組み

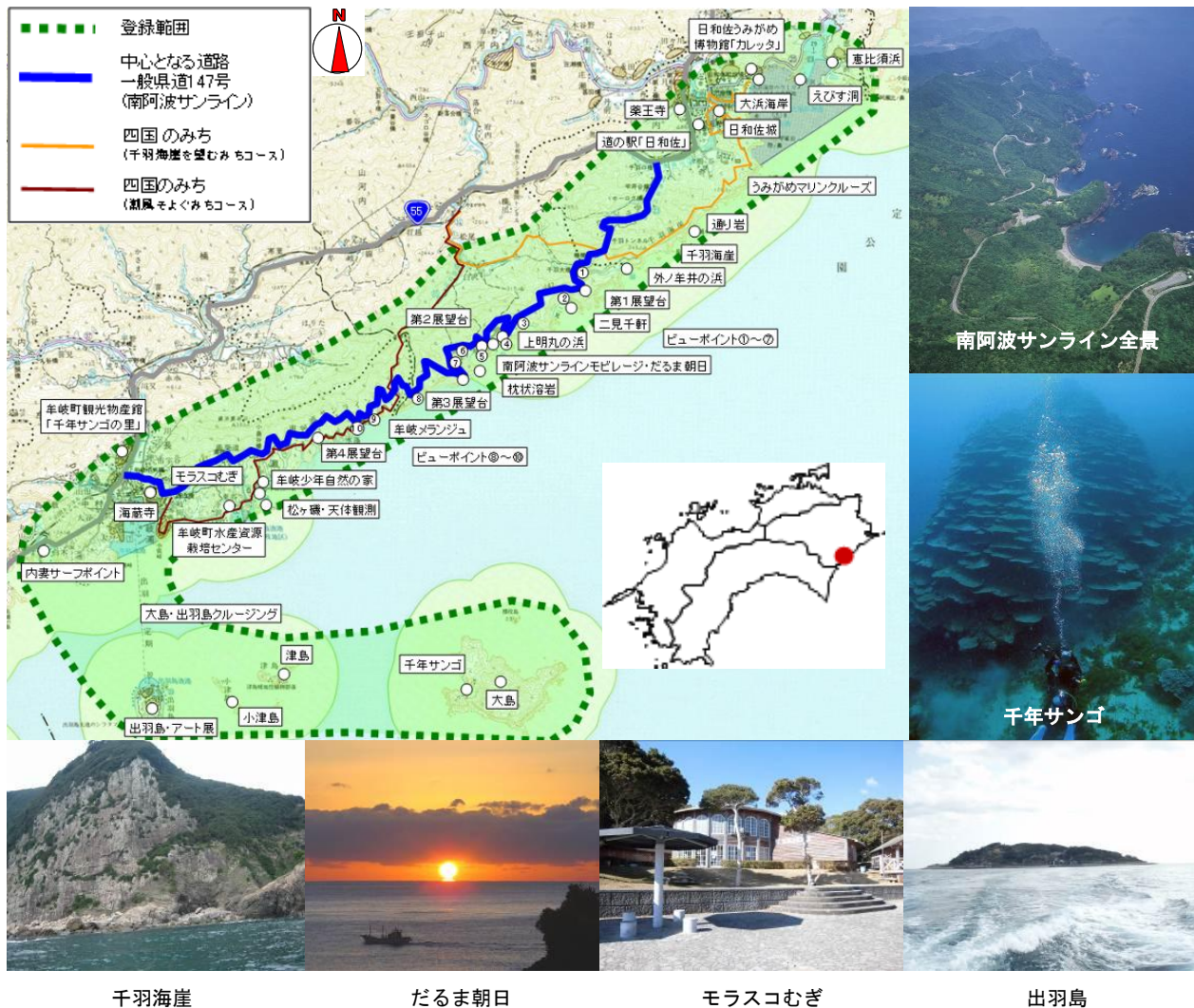
ルート名：～オーシャンビュー～南阿波サンライン・風景海道

1. ルートの概要

「～オーシャンビュー～南阿波サンライン・風景海道」は、徳島県の県南部に位置する美波町と牟岐町を結ぶ全長16.5kmの観光道路「南阿波サンライン」(一般県道147号線)を中心とした、美波町恵比須浜から牟岐町牟岐浦の牟岐大島にかけての地域を登録範囲とする、美しい海岸線と雄大な景観が満喫できる“海道・うみのみち”です。本年3月に、四国で12番目、全国では130番目となる日本風景街道に登録されました。

サンラインを中心に、周辺の自然歩道「四国のみち」や室戸阿南国定公園で特別保護地区に指定されている「千羽海崖」、そして「出羽島」、「日和佐うみがめ博物館カレッタ」、貝の資料館&水族館「モラスコむぎ」などが、当風景街道での地域資源とされています。

風景街道パートナーシップを構成する組織は、「南阿波サンライン活性化協議会」で、地元NPO等ボランティア団体、企業、行政など、15団体です。



ルート概要図及び代表的な地域資源

2. 活動の紹介

南阿波サンラインは、昭和49年に観光有料道路としてオープンしましたが、利用者が低迷し昭和63年に無料化されました。建設から40年近くが経過し、樹木による景観阻害、トイレ等施設の老朽化、投棄物など課題が生じておりますが、平成20年7月に地元関係者等による「南阿波サンライン再生プロジェクト委員会」を立ち上げ、本年1月には再生委員会を発展的に解消し住民主導による「南阿波サンライン活性化協議会」を新たに設けたところであり、活性化への機運が高まってきております。

(1) 協議会の活動

南阿波サンライン活性化協議会(旧:再生委員会)でのこれまでの活動としては、

- 眺望を阻害する沿道樹木の伐採・枝打ち
- 地元NPO、ボランティア団体及び企業に「徳島県OURロードアドプト事業」に登録していただき、サンライン沿線を清掃
- 南阿波サンライン周辺の利活用を検討するワークショップ(現在7回)の開催
- 撮影等に適した眺望ポイントの路面にマーキングし、ガードレールに表示板を設置
- 徳島大学と協働で、南阿波サンラインの中でも特に優れた眺望ポイントなど紹介する「ビューポイントマップ」を作成し、周辺施設、道の駅などに配布
- 「ビューポイントマップ」データをもとに、拡大版の案内「パネル」を作成し、道の駅日和佐に設置

などに取り組んできております。



アドプト活動状況



ワークショップ状況



ビューポイント「表示板」



ビューポイント・案内「パネル」

(2) 豊かな自然を活かしたイベント

また、サンライン周辺では、当協議会の構成団体などにより、さまざまな体験型イベントが開催されています。

①南阿波サンラインを活用したイベント

- ひわさうみがめトライアスロン(美波町 主催)
- 四国の右下アウトドアフェス(県南部総合県民局 主催)
- 四国の右下ロードライド(県・1市4町・「四国の右下」ロードライドイベント実行委員会 主催)
- ヘルスアップ in 牟岐(牟岐少年自然の家 主催)
- 南阿波サンマラソン牟岐ハーフ(牟岐町 主催)

②登録範囲内での主なイベント

- 千羽海崖コースタル・トレイルランニングレース(千羽海崖コースタル・トレイルランニングレース実行委員会 主催)
- 出羽島アート展(牟岐町商工会・出羽島アートプロジェクト 主催)

などが開催され、たくさんの方々に豊かな自然・美しい景観を体感していただいております。



ひわさうみがめトライアスロン



四国の右下ロードライド



ヘルスアップ in 牟岐

(3) 南阿波サンライン沿いの科学的価値

南阿波サンライン周辺は、将来、地質遺産の研究を進めていくうえで価値の高い「プレートの沈み込んでいる場所の特徴である過去の巨大地震の断層」などが保存されている場所です。

こうした貴重な地質を観光資源や地域学習・防災学習として活かすことを目指し、ジオツーリズム検討会や講演会も開催しております。



枕状溶岩



プレートの沈み込みに伴って動いた過去の巨大地震断層

3. 今後について

風景街道への登録を契機として、南阿波サンラインの魅力をさらに伝えていくため、連携する団体と知恵を出し合い、サンライン沿線の今ある自然、歴史、文化資源の掘り起こしは勿論、地域のマンパワーを結集して、サンラインを再び輝く道にしていきたいと思っております。

〈執筆者〉

南阿波サンライン活性化協議会会長 中東 寛



第3展望台からの眺望

シリーズ：社会資本整備総合交付金等の活用事例

「能登の里山里海景観、霊峰白山と手取峡谷の眺望」

ルート名：奥能登絶景海道、白山眺望街道

1. 奥能登絶景海道と白山眺望街道の紹介

＜奥能登絶景海道＞

奥能登絶景海道は、能登半島の最先端に位置する石川県珠洲市を中心とした、断崖地形からなる内浦に囲まれ、その海岸線を結ぶ国道 249 号、主要地方道大谷狼煙飯田線の沿線が活動範囲となっています。海岸線には能登半島国定公園をはじめとする多くの観光資源があり、日本の農村漁村の原風景ともいえる「能登の里山里海」の美しい景観が楽しめます。

当ルートでは、風光明媚な景観や豊かな自然環境、歴史、風土を活かしながら、奥能登の観光支援や交流促進、地域コミュニティの再生に向けたまちづくりの推進を目指した活動を行っています。



奥能登絶景海道と主な地域資源

主な地域資源

【自然・景観資源】

曾々木海岸、仁江海岸、垂水の滝、ゴジラ岩、木ノ浦海中公園、
禄剛埼灯台、鉢ヶ崎リゾートエリア、見附島

【歴史・文化資源】

平時忠卿及びその一族の噴、大谷川鯉のぼりフェスティバル、
須須神社、寺家のキリコ祭り、飯田燈籠山祭り

【体験・交流資源】

すず塩田村

【施設・情報資源】

珠洲焼資料館、能登半島里山里海自然学校



キリコまつり
(珠洲市)



見附島（珠洲市）



禄剛埼灯台（珠洲市）



大谷川鯉のぼりフェスティバル
(珠洲市)



すず塩田村（珠洲市）



垂水の滝（珠洲市）

＜白山眺望街道＞

白山眺望街道は、石川県の北陸道小松 IC 及び加賀 IC から南加賀地域へ繋がる南加賀道路（県道及び市道）を中心とした、小松市、加賀市が活動範囲となっています。

当ルートでは、加賀温泉郷のゲートウェイでもある南加賀道路を住民らとともに、愛着を感じるふるさと道路、もてなしを感じる観光道路として魅力創出を図り、石川県を代表する「美しいみちづくり」を進めることを目指した活動を行っています。



白山眺望街道と主な地域資源

主な地域資源

【自然・景観資源】

白山眺望景観、沿道の水仙、彼岸花の花畑、越前加賀海岸、片野鴨池、鶴仙溪

【歴史・文化資源】

安宅の関、那谷寺、北国街道、お旅まつり、山代大田楽、菖蒲湯まつり

【体験・交流資源】

大聖寺川流し舟、ゆのくにの森、加賀フルーツランド

【施設・情報資源】

加賀温泉郷、九谷焼、山中漆器、小松空港



白山眺望景観（小松市）



鶴仙溪（加賀市）



安宅の関（小松市）



大聖寺川流し舟（加賀市）



山代大田楽（加賀市）



加賀温泉郷（加賀市）

2. 寄り道パーキング等の整備状況

「奥能登絶景海道」と「白山眺望街道」では、世界農業遺産に登録された「能登の里山里海」景観や、「霊峰白山と手取峡谷」の眺望など、魅力あるいしかわの風景をゆっくりと堪能していただき、地域の観光交流拡大に寄与することを目的とし、社会資本整備総合交付金により、いしかわ風景街道整備事業として「寄り道パーキング」を整備するほか、景観に配慮した防護柵の設置等を実施しています。併せて観光案内、美化活動や特産品の販売など、地元の自治体と住民が一体となった地域資源の活用・保全を行っています。

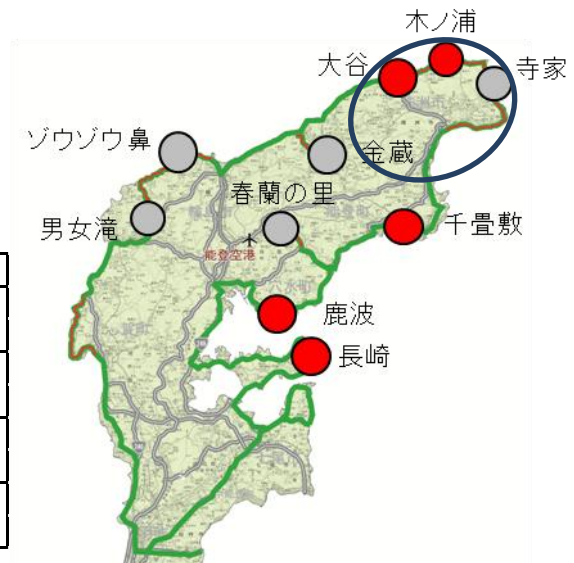
いしかわ風景街道整備事業における奥能登絶景海道を含めた能登地区の寄り道パーキングの整備箇所は、平成25年10月現在の時点で5箇所、白山眺望街道を含めた加賀地区の寄り道パーキングの整備箇所は、4箇所が整備済みとなっております。

<寄り道パーキング整備箇所（能登地区）>

整備済み箇所

- ・ 春蘭の里(しゅんらんのさと)
- ・ 男女滝(なめたき)
- ・ ゾウゾウ鼻
- ・ 寺家(じけ)
- ・ 金蔵(かなくら)

【凡例】	
奥能登絶景海道 活動範囲	
いしかわ風景街道 整備路線	
寄り道パーキング 整備候補箇所	
寄り道パーキング 整備済み箇所	



【寺家】



全景



道路案内板

【金蔵】



全景



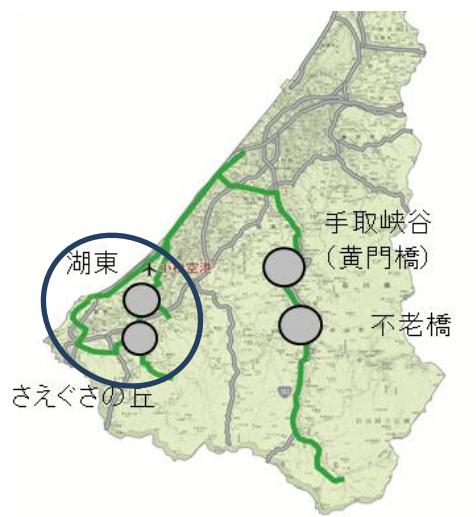
道路案内板と直売所

<寄り道パーキング整備箇所（加賀地区）>

整備済み箇所

- ・ 手取峡谷（黄門橋）
- ・ 不老橋
- ・ 湖東（ことう）
- ・ さえぐさの丘

【凡例】	
白山眺望街道 活動範囲	
いしかわ風景街道 整備路線	
寄り道パーキング 整備候補箇所	
寄り道パーキング 整備済み箇所	



【さえぐさの丘】



全景



視点場サイン



道路案内板

【湖東】



全景



案内サイン

3. 今後の展望

今後も引き続き寄り道パーキングの整備等を行い、石川の風景をゆっくりと堪能していただけるような地域づくりを行い、地域の魅力を高めてまいります。

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	畑山 朗	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	増澤 亨	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	石浜 康賢	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	稲本 義昌	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	稲垣 光正	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	南條 耕平	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	糸原 保	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	野上 直樹	087-851-8061(代表) (内線 4631)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	石橋 賢一	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	末光 勇次	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>